

自主防災 ひろしま

自助

共助 公助

2020年 秋・冬号
〈No.256〉

編集・発行
広島市危機管理室
082-504-2664

10月3日、ぼうさいこくたい 2020 HIROSHIMA が開催されました！

ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）とは、内閣府等の主催による、初心者から専門家まで幅広く防災を学べる日本最大級の防災イベントです。5回目となる今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、東京と広島を繋げてオンラインでの開催となりました。

＜当日配信された映像をご覧ください＞

ぼうさいこくたいには、全国から防災に関わる多数の団体が参加し、セッションやプレゼン、ワークショップを出展しました。当日配信された映像は、ぼうさいこくたいオンライン特設ページから、今年度末までご覧いただけます（一部除く）。ぜひご覧ください。



ぼうさいこくたい
イメージキャラクター
「Bちゃん」



視聴方法

ぼうさいこくたい公式HPへ

ぼうさいこくたい

<http://bosai-kokutai.jp/>

オンライン特設ページ

<https://bosai-kokutai.com/>



ぼうさいこくたい公式

YouTubeへ



※本紙掲載の情報は令和2年9月時点のものです。災害の発生等により、大会が中止される場合があります。

＜広島市もセミナーを配信しました＞

ぼうさいこくたいのプログラムの中で、第2回広島市防災セミナー「語り継ぐ防災～教訓を活かす～」を配信し、多く方にご覧いただきました。また、東京大学大学院の片田敏孝特任教授をお迎えし、災害伝承と防災教育をテーマに、広島市内の事例を紹介しトークセッションを開催しました。

RCCラジオ（株式会社中国放送）と共催し、RCCアナウンサー・本名正憲さんやRCC気象予報士・防災士の岸真弓さんにコーディネートいただきました。当セミナーのトークセッションの映像は、上記サイトからご覧いただける他、無料動画配信サイト「RCC PLAY!」からもご覧いただけます。



▲発表された落合小学校の防災授業の様子



東京大学大学院情報学環
特任教授
日本災害情報学会 会長

片田 敏孝 氏

専門は災害情報学・災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。

大雨と台風に備えましょう

<家の外の備え>

□ 屋外のものを家の中にしまいましょう
風で飛ばされそうな植木鉢や物干し竿等は、屋内に入れましょう。

□ 雨どいや側溝の確認

落ち葉や土砂が詰まっていないか確認しましょう。

□ 車のガソリンを満タンにしましょう

停電時でも、車のエアコンを使用したり、スマホ等の充電ができます。

□ 雨戸・網戸を固定しましょう

養生テープ等で固定し、風で飛ばされるのを防ぎましょう。



<家の中の備え>

□ 非常持ち出し品を準備しましょう

いつもの非常持ち出し品にマスクや除菌シート、体温計を加えましょう。

□ スマホ・パソコンを充電しましょう

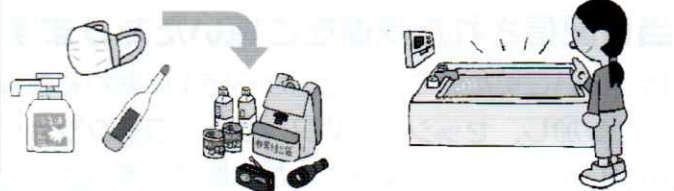
停電に備え、フル充電にしておきましょう。パソコンはスマホの充電にも利用できます。

□ 風呂場に水をためておきましょう

断水時に手洗いやトイレ等の生活用水として役立ちます。

□ 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう

窓ガラスが割れた際、ケガを防げます。カーテンは閉め、ブラインドは下ろしましょう。



<避難所の感染症対策について>

詳しくは
市防災情報サイトで▶



広島市では、市民の皆さんがためらうことなく市が開設する避難所へ避難していただけるよう、以下のとおり準備しています。

避難所の過密状態を防ぐため、例えば、小学校では、通常使用する体育館に加えて使用可能な教室を開設します。また、状況に応じて追加で避難所を開設します。



受付で非接触型体温計により検温したうえで、健康状況の聞き取りを行い、体調不良者の方は、避難所内に確保した別室等の専用スペースに案内します。

マスク等の感染防護具については、持参が基本であることを防災情報メール等により呼びかけ、一定量は避難者のために避難所に配備します。また、手洗い、咳エチケット等を徹底するために掲示物を用いて周知します。



避難所には、消毒液、ゴム手袋、雑巾、手指洗浄用薬剤を配備し、定期的な消毒・清掃を徹底し、密閉を回避するために十分な換気を行います。

市が開設する避難場所の過密を避けるためにも、可能な人は、安全な場所にある親戚・知人宅等への避難を検討しましょう。

<避難誘導アプリ 避難所へGo! を使ってみましょう>

避難所へGo!は、土地勘のない人を対象にした開設中の最寄りの避難所へのルート表示機能だけでなく、地域住民の皆さんにとっても便利な機能があります。ぜひダウンロードし、日頃からの備えや災害時にお役立てください。

ダウンロードは
こちらから

▼ Android



▼ iOS



(1) 危険な区域の確認



(2) 避難情報のプッシュ通知機能



(3) 避難所の開設状況確認



広島市防災訓練補助金の使用例を紹介します



大塚学区防災訓練

(令和2年7月26日、大塚小学校)

約60名の参加者が避難所運営訓練に参加し、新型コロナウイルス感染症を踏まえた図上訓練を行いました。補助金は、フェイスシールドや非接触型体温計の購入費に充てられました。



鈴が峰防災キャンプ

(令和元年8月24日、鈴が峰小学校)

約50名の子どもたちが防災キャンプに参加し、炊き出しや避難所での宿泊体験を行いました。補助金は、炊き出しの食材費などに充てられました。

防災訓練補助金とは

市立小学校区単位の自主防災会連合会等が開催する防災訓練を対象に、訓練に必要な物品等の購入等(訓練参加人数に200円を乗じた額を上限)に要する費用を支援します。



詳しくは、お住まいの区の地域起こし推進課へお問い合わせください。

区	電話番号	区	電話番号
中	504-2820	安佐南	831-4926
東	568-7705	安佐北	819-3905
南	250-8935	安芸	821-4905
西	532-1023	佐伯	943-9704

令和2年

秋の全国火災予防運動

期間：令和2年11月9日～15日



火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しているものです。

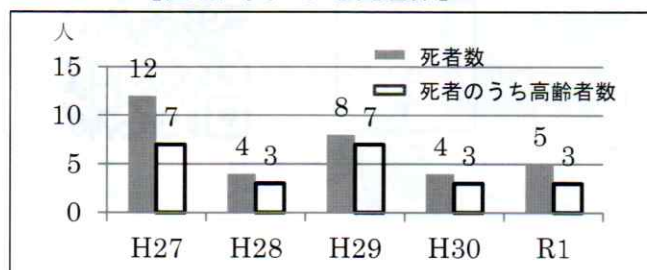
屋内での注意事項

●住宅火災による死者数と月別発生人数（5年間）

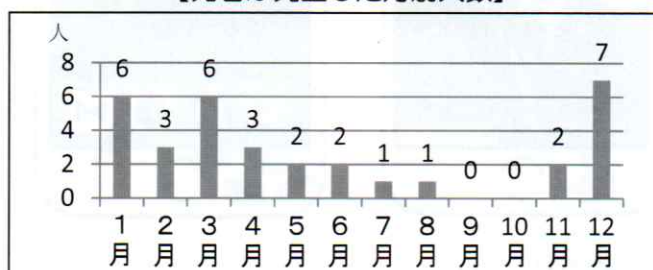
広島市消防局管内における住宅火災による死者の半数以上が65歳以上の高齢者です。

また、死者の発生時期は12月～3月が多く、死者が発生した火災の原因や対策を知って、大切な命や財産を守りましょう。

【住宅火災による死者数】



【死者が発生した月別人数】



●主な火災原因と対策

原因

ストーブによる火災

対策

ストーブにものが触れて火災になるのが特徴です。

寝るときはストーブの火を消す
ストーブで洗濯物を乾かさない
給油はストーブの火を消してから行う



原因

たばこによる火災

対策

くすぶった状態が続いた後に火災になるのが特徴です。

灰皿にたばこの吸殻をためない
たばこは水に浸してから捨てる
寝たばこは絶対にしない

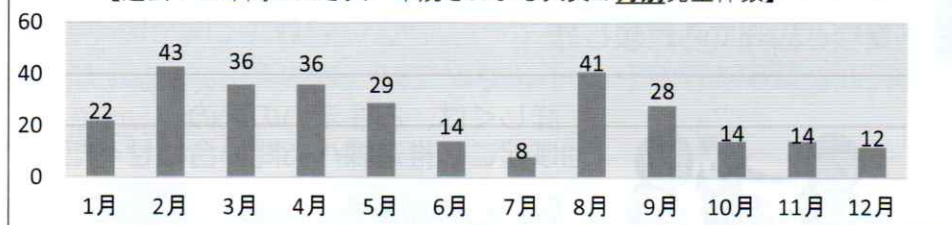


屋外での注意事項

これから空気が乾燥し、たき火などによる「屋外」での火災が発生しやすい季節となりますので、屋外での火気の取扱いには十分注意して下さい。

●たき火火災の月別発生件数（過去10年間）

【過去10年間のたき火・草焼きによる火災の月別発生件数】



令和元年
たき火火災発生件数
27件



●「屋外」での火気の取扱い時における注意事項

対策

乾燥注意報、強風注意報が出ている場合は、火気を取り扱わない。
火気を取り扱う場合は、消火器、水バケツなどの消火器具を準備する。
火気を取り扱う間は、その場所を離れない。残火を完全に消火する。